

「復興農学会」事務局会議（仮称）（試行） 議事録

文責 新田 洋司（福島大学）

日時 2020年5月8日（金）17時00分～18時05分

方法 ZoomによるWeb会議

出席者 大川 泰一郎（東京農工大学）、溝口 勝（東京大学）、内田 修司（福島高専）、菅原 優（東京農業大学）、登尾 浩助（明治大学）、青木 寿博（福島高専）、川妻 伸二（同）、新田 洋司（福島大学）、石井 秀樹（同）、丹野 史典（同）、松島 武司（福島イノベ機構）

欠席等連絡者 伊藤 央奈（郡山女子大学）、黒瀧 秀久（東京農業大学）  
（敬称略）

議事

1. 会則について【資料】（新田）

新田より資料にもとづいて原案の説明があった。審議の結果、第1条に、本会が東日本大震災・福島第一原子力発電所事故で被災した福島県浜通り地域の復旧・復興事業に起因することを加筆すること、第2条の本会の目的で浜通り地域の復旧・復興に限定しないこととすること、また成果を国内・外への発信や復旧・復興に寄与することを明らかにすること等を新田が修正し、次回の本会議で再度提案・審議することとなった。

2. 各大学等の成果のWeb公開について【資料】（新田）

新田より資料にもとづいて各大学等の2019年度の成果のWeb公開について説明があった。審議の結果、同成果をWeb公開することが確認された。また、各大学等の2018年度の成果や、「復興知」事業以外の関連の成果もWeb公開することが了承された。については、各大学等の担当者は資料を新田に送付することとなった。また、Webにはアンケートを実施するページを設けることなども了承された。

3. 「復興農学会」の進め方について（新田）

事務局会議（仮称）、全体会議等のあり方や、「復興農学会」の進め方について意見交換した。以下のような意見が出され、次回以降、再度検討することとなった。

(1) 事務局会議について

- ・週に1回ほどの頻度で、毎回1時間程度、Zoomで開催する。
- ・開催時間は、大学等における業務や現地での農作業等の関係から、17時以降ぐらいがよい。

(2) 全体会議について

- ・月に1回ほどの開催頻度はハードだが、やり方を工夫して開催してはどうか。
- ・初回は5月下旬でどうか。
- ・成果発表や情報提供、交流などのほか、各大学等が現地で実施する「イベント」を含んで実施するのもよい。
- ・「復興知」事業は「イベント」や成果が大学等と地域との間で「閉じて」しまっている印象がある。そうしないためにも、地域、自治体、住民が参加する形態がのぞまれる。

4. その他

(1) 「ロードマップ」・「シーズ集」について

復興農学会関係の「ロードマップ」については、策定することが確認された。

「シーズ集」については、作成する研究者等や事務局の対応が面倒にならないようにした方がよい、文書形式だけでなくパワーポイントのスライド形式でもよい、キーワードを充実させた方がよい、などの意見があった。

いずれも今後、福島大学より提案して審議し、進めることとなった。

次回 2020年5月11日（月）9時00分～10時00分 ZoomによるWeb会議

以上